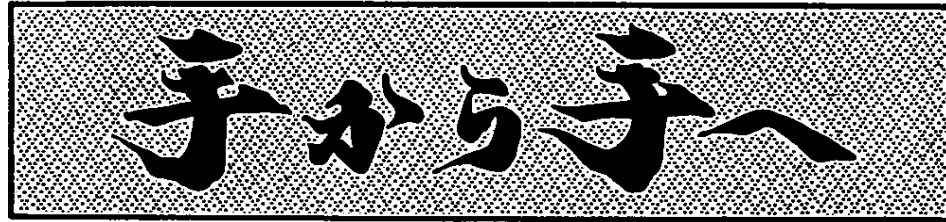


発行／公立大学法人
首都大学東京労働組合
TEL＝042-677-0213
Eメール＝union@apricot.ocn.ne.jp
HP＝http://tmu-union.org/



第 2864 号

2020 年 6 月 4 日

投稿

人文社会学部では、新型コロナウイルス感染症が拡大するなか、学生の生活や学修環境のことを気かけ、でき得る限りの支援をしてきました。しかし、学生が置かれた状況は深刻であることから、人文社会学部教授会として、学長に下記の要望書を提出しました。もちろん、支援の拡充は全ての学部の学生に必要です。

今後、他学部の方々とも情報を交換しあい、連携していくことができたら幸いです。

杉田真衣（文系・事務支部、人文社会学部教員）



東京都立大学 学長 上野 淳 様

新型コロナウイルス感染症に対応した本学の学生支援の拡充に関する要望書

2020 年 5 月 21 日

人文社会学部教授会

上野 淳 学長におかれましては、新型コロナウイルス感染症拡大に対応しながら、最善の教育態勢を整えるためにご尽力いただいていることに敬意を表します。

5 月 14 日、新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言の一部解除が発表されましたが、東京都の緊急事態措置は 5 月 31 日まで延長されています。こうした状況に対応して、本学でも、家計が急変した学生への授業料の減額・免除、前期授業料の納入期日の延長、オンライン授業のための通信環境等の準備が整わない学生への Wi-Fi ルーターおよびノートパソコンの貸出等の学生支援が実施されてきました。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大の終息の見通しは立たず、経済的な困窮状況や学修環境等に対して支援を求める学生（留学生を含む）たちの声は、切実さを増しています。

アルバイトがなくなり、生活費や学費に充てる収入が激減して経済的に苦境に陥っている学生は多く、今後の生活に不安を感じている学生も少なくありません。もともと、本学は、経済的に苦しい学生も学業に専念しやすい大学であるという点が学生から評価されており、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、学生の経済的な困窮の度合いに応じた十全な支援が求められます。

5 月 11 日よりオンライン授業が開始されましたが、Zoom によるリアルタイムの授業を基本とするのであれば、学生がオンラインでの学修に必要な通信環境を用意できるよう支援を徹底することが求められます。

学生相談室、学生課や教務課・教務係等による継続的なサポートにくわえて、人文社会学部の各教室でも学生のケアに努めています。長期の自粛生活により心理面のストレスや不安を訴える学生が目立ち、留学生からも必要な情報にアクセスしやすく、気軽に相談・交流できる環境を求める声が寄せられています。こうした学生、留学生の実情に応じて、関係部局と教職員が連携し、組織的に支援できる体制が求められます。

こうした状況に鑑み、東京都の公立大学として、学生の生命と健康を守り、安心して生活や学業を継続することができるよう、ひきつづき学生の声を聴きながら、新型コロナウイルス感染症に対応した学生支援を拡充することを要望いたします。

記

- 授業料減免の要件を緩和するとともに、全学生に対して一律の給付金を支給する等の経済的支援を拡充すること
- 学生がオンライン授業を受講するのに十分な通信環境や端末機器を用意するための支援を拡充すること
- 学生の心理的なストレスや不安に対応するために、学生相談室等と、関係部局、教職員との組織的支援体制を構築すること
- 適切な支援を講じるために、新型コロナウイルス感染症に係る学生生活への影響の実態を調査すること
- 新型コロナウイルス感染症に対応した学生支援を拡充するために、東京都に対して必要な財政措置を要望すること

(以上)